

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成30年8月2日(2018.8.2)

【公表番号】特表2017-527510(P2017-527510A)

【公表日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-574926(P2016-574926)

【国際特許分類】

C 0 3 C	27/06	(2006.01)
C 0 3 C	21/00	(2006.01)
B 3 2 B	3/26	(2006.01)
B 3 2 B	17/06	(2006.01)
A 4 7 F	3/04	(2006.01)
F 2 5 D	23/02	(2006.01)
F 2 5 D	29/00	(2006.01)

【F I】

C 0 3 C	27/06	1 0 1 H
C 0 3 C	21/00	1 0 1
B 3 2 B	3/26	A
B 3 2 B	17/06	
A 4 7 F	3/04	D
F 2 5 D	23/02	3 0 2
F 2 5 D	29/00	Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月22日(2018.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

断熱ガラスユニットにおいて、
外面および内面を有する第1の板ガラス、
外面および内面を有する第2の板ガラス、および
前記第1の板ガラスと前記第2の板ガラスの間に画成された第1の密封間隙、
を備え、
前記第1の密封間隙が、少なくとも1種類の断熱ガスまたはその混合物で満たされており、

前記第1の板ガラスと前記第2の板ガラスのいずれか1つ以上が、約0.7mm以下の厚さを有し、化学強化されている、断熱ガラスユニット。

【請求項2】

前記第1の板ガラスと前記第2の板ガラスの間に配置された第3の板ガラス、
前記第1の板ガラスと前記第3の板ガラスの間に画成された、少なくとも1種類の断熱ガスまたはその混合物で満たされた第2の密封間隙、および
前記第2の板ガラスと前記第3の板ガラスの間に画成された、少なくとも1種類の断熱ガスまたはその混合物で満たされた第3の密封間隙、
をさらに備え、

前記第3の板ガラスが、約0.7mm以下の厚さを有する、請求項1記載の断熱ガラスユニット。

【請求項3】

前記第3の板ガラスが化学強化されている、請求項2記載の断熱ガラスユニット。

【請求項4】

前記第1と第2の板ガラスの中間に第4の板ガラスをさらに備え、該第4の板ガラスが、約0.7mm以下の厚さを有し、化学強化されている、請求項1から3いずれか1項記載の断熱ガラスユニット。

【請求項5】

前記第1の板ガラス、前記第2の板ガラス、および前記第3の板ガラスのいずれか1つ以上が、電子ディスプレイ、バックライトユニット(BLU)、導波路、導光板(LG)、およびタッチ機能表面のいずれか1つ以上を備える、請求項1から4いずれか1項記載の断熱ガラスユニット。